

# 仕様書

## 1 業務名

萩市文化財保存活用地域計画作成支援業務

## 2 業務の目的

萩市は令和4年度から令和5年度までの2ヵ年で、萩市の歴史文化と文化財がもつ価値と魅力を再発見・共有するための萩市における総合的な文化財保存活用が目指す将来像と方針を示したアクションプランとなる「萩市文化財保存活用地域計画」（以下、「地域計画」という。）を作成する。

本業務は、計画の策定を進めるに当たっての事前把握、指定・未指定の文化財の整理、意向調査の実施、地域計画の内容検討、地域計画の執筆支援、萩市文化財保存活用地域計画作成委員会（仮称）（以下、「委員会」という）の運営などの支援を行い、地域計画を作成することを目的とする。

## 3 業務の対象区域

業務の対象区域は、萩市全域とする。

## 4 業務の期間

業務の期間は、契約締結日から令和6年3月29日までの間とする。

## 5 業務の内容

### 5-1 令和4年度業務

#### (1) 序章（背景と目的、計画期間）の整理

本計画の作成に至る背景や目的、計画期間を明らかにする。

#### (2) 萩市の概要の整理

萩市の位置や地形、気候などの自然的・地理的環境、人口、産業、土地利用などの社会的状況、歴史や関わりのある人物、人々の伝統的な営みなどの歴史的背景について、本市が提供する資料等をもとに整理する。

#### (3) 萩市の文化財の概要の整理

萩市が萩まちじゅう博物館の取組みを通じて、これまでに調査・収集して得た3,773件の“おたから”データ（カルテ）や“おたから”をもとに設定した26地域のテーマストーリー、萩市歴史的風致維持向上計画作成時のデータ等を用いて、文化財リスト及び分布図を整理する。

#### (4) 萩市の歴史文化の特徴の検討

萩市が提供する資料等をもとに、萩市における固有の歴史や文化にまつわる地域的な特徴について検討する。

#### (5) 文化財の保存・活用に関する課題の検討と意向調査

上記(1)から(4)の作業に基づいて、萩市における文化財の保存・活用に関する課題について検討する。市民の文化財に関する意識や保存・活用に関する意向を把握するため、関係者からのヒアリングやワークショップを行う。

##### a. ヒアリング

ヒアリングの対象者としては、観光や産業振興に関する活動団体・事業者等5者程度に

対して行い、文化財を活用した取り組み事例の現状と課題、文化財の保存活用に将来展望や事業連携の可能性などを聞き取ることを想定し、発注者の取りまとめの補助を行う。

#### **b. ワークショップ**

ワークショップの実施回数は3回行うものとする（現時点では、令和4年度2回、令和5年度1回を想定している）。対象者としては、今後、結成する委員会等で構成する下部組織（部会）として、委員が推薦する一般市民や歴史文化や観光に関する活動団体・事業者等を想定している。市民や文化・商工観光関係団体等の持つ文化財保存活用に関する興味・関心や課題、サステイナブルな保存活用等を議論・提案することを予定し、発注者の取りまとめの補助等を行う。

#### **(6) 文化財の保存・活用に関する方針の検討**

萩市の歴史文化の特徴及び文化財の保存・活用に関する課題を踏まえ、本市として目指すべき方向性や将来像、文化財の保存・活用に関する取組の方針について検討する。

#### **(7) 委員会の開催支援（2回程度）**

本計画の作成は、学識経験者、商工観光振興の関係団体の代表、地域まちづくり団体代表等文化財の保存・活用に係る多様な関係者が参画する委員会の意見を聞きながら行うこととし、委員会の開催・運営、取りまとめなどを支援する。

委員は15名程度を想定し、必要に応じ、随時オブザーバーの参加も想定している。令和4年度は、委員会を2回開催する。コロナウイルス感染症対策として、Zoom等を用いたオンラインによる会議も想定する。

#### **(8) 打合せ協議（2回）**

打合せ協議は、業務着手時1回、中間1回の計2回行うほか、必要に応じて行う。

### **5-2 令和5年度業務**

#### **(1) 文化財の保存・活用に関する措置の検討**

前年度業務の方針等を踏まえ、計画期間中に行う事業や関係法令上の措置などの取組の具体的な内容について検討する。

#### **(2) 文化財を把握するための調査に関する事項の検討**

前年度業務の方針等を踏まえ、計画期間中に行う文化財を把握するための調査に関する事項の具体的な内容について検討する。

#### **(3) 文化財の保存・活用の推進体制等の検討**

文化財の保存・活用を推進していくため、庁内体制や関係部署の連携、地域における担い手や団体の確保やそのあり方、協働の仕組みなどについて検討する。

#### **(4) 関連文化財群の検討**

萩市の歴史文化の特徴を基本として、関連文化財群を設定し、そのストーリーや構成要素、具体化のための措置などを検討する。

#### **(5) 文化財保存活用区域の検討**

文化財保存活用区域については、未指定文化財を含めた文化財の分布・集積、萩市のコミュニティの実状等を勘案して、設定方針やモデル区域等を検討する。

※文化財保存活用区域とは、不動産である文化財や有形の文化財だけではなく、無形の文化財も含めて文化財が特定地域に集中している場合に、文化財と一体となって価値を形成する周辺環境も含め、当該文化財（群）を核として文化的な空間を創出するための計画区域。

#### (6) 全体取りまとめ・編集

前年度業務及び資料編を含め、本計画全体を取りまとめ・編集するとともに、業務報告書を作成する。

#### (7) 委員会の開催支援（2回）

本計画の作成に係る委員会の運営、取りまとめなどを支援することとし、令和5年度は、協議会を2回開催する。

#### (8) 打合せ協議（2回以上）

打合せ協議は、中間1回、業務完了時1回の計2回行うほか、必要に応じて行う。

### 6 成果品

#### 6-1 令和4年度業務

- (1) 業務報告書（A4判、100頁程度、単色・一部カラー、簡易製本） 2部
- (2) 上記(1)の電子データ（CD-R） 3枚

#### 6-2 令和5年度業務

- (1) 業務報告書本編（A4判、200頁程度、単色・一部カラー、簡易製本） 2部
- (2) 上記(1)の電子データ（CD-R） 3枚
- (3) 地域計画 PDFデータ・Wordデータ
- (4) 地域計画概要版 PDFデータ・Wordデータ

### 7 その他

- (1) 資料については、文化財保護課が所有する市史や刊行物を貸与し、所有する写真画像や図表については提供する。その他必要とする資料等がある場合は、協議の上決定する。